

(令和5年度補正) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 **安芸市** (都道府県: **高知県**)  
 本事業の担当部局名 **安芸市企画調整課企画係**

事業メニュー	地域結婚支援重点推進事業		
区分	重点メニュー		
関連事業メニュー	1.2_1 自治体間連携を伴う結婚支援の取組		
個別事業名	安芸市出会い・結婚応援事業	新規/継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間	令和6年4月1日 ~	令和7年3月31日	事業開始年度 令和 4 年度
対象経費支出予定額 ※(注)1	5,394,074		円
自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け ※(注)2	<p>(これまでの少子化対策の全体像及びその効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題) ※全事業共通</p> <p><b>&lt;これまでの少子化対策の全体像&gt;</b>                  本市は、昭和35年から人口減少に転じており、平成7年には約200人であった出生数が、令和3年には74人と大幅に減少している。さらに、20~40代の人口は平成17年の4,329人から令和2年には4,223人へと減少しており、今後においても、大幅な出生数の増加は見込めない状況となっている。                  本市では、人口減少の要因の一つである少子化の解消に向け、出生率向上を目的とした有効な施策展開を行うため、平成30年度に高知県立大学と連携し、本市における少子化の現状や要因分析のほか、取組に対する学術的な検証を行った。その結果報告においては、本市の子育て支援に係る取組は、国の主要な施策を網羅しており、量的確保もなされているなど、少子化対策事業は実績をあげていると判断されている。しかし、国の事業を利用したものが多くを占めており、安芸市の独自性が足りないという課題があることから、「課題発見型」の独自調査に取り組み、析出された課題に対し、他部署と連携して多角的に対策を講じることで本市独自の子育て支援策になると示された。また指摘事項として、庁内関連部署間の連携不足が挙げられており、部署の垣根を越えた連携体制構築のため、令和3年6月、全庁横断的な少子化対策の検討機関として、「安芸市少子化対策プロジェクトチーム」を設置し、広角で多角的に本市の少子化対策に関する検討に取り組んでいる。</p>		
	<p><b>&lt;その効果検証から浮かび上がった地域の実情及び課題&gt;</b>                  同プロジェクトチームでは、令和3年度から地域の実情に合った少子化対策の検討を開始したが、その検討過程において、本市の少子化対策の強み・弱みを抽出したことで出会いに関する支援が足りていなかったことが判明し、また出生数と婚姻数の推移には強い相関関係が見られたことから、従来の子育て支援の取組と並行して、これまで主体的に実施してこなかった出会い・結婚支援対策に取り組む必要があるとの結論に至った。                  また、令和4年度には本市民を対象に、出会い・結婚・子育てに関する意識アンケート調査を実施したが、男女ともに「異性と出会う機会がない」との回答が多くあったことから、本市において男女が出会う機会を拡充し、出会い・結婚等に向けた意識の醸成につなげていくことが重要であると位置付けた。このような現状・課題を踏まえ、良い出会いを望む人の希望をかなえるため、出会いの場の創出を含めたサポートを行うことを目的に、取り組んでいる。</p>		
	<p>(当年度の少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け)</p> <p><b>&lt;当年度の少子化対策の全体像&gt; ※全事業共通</b>                  市プロジェクトチームでの検討過程を経て、令和4年4月から、出会いや結婚支援分野の専門支援員となる「出逢いコンシェルジュ」を配置し、結婚や子育てに関する意識調査や地域における機運醸成に向けた取組を開始している。                  また、当該取組を開始した令和4年度からは、同コンシェルジュが中心となり、市がこれまで主体的に実施してこなかった男女の出会いイベントを企画したところ、定員を上回る応募があり、過去2回開催した恋活イベントでは、多数のカップリングが実現し、その後真剣交際が始まったカップルも誕生するなど、着実に成果が出てきている。                  出会いの分野に係る支援をさらに強化させていくとともに、他市町村と比較しても見劣りしない既存の本市の子育て支援策を継続し、これらの取組を広く情報発信していくことで、市内外の住民に対し、出会い・結婚・子育てに関する行き届いた手厚いサービスが受けられることを知っていただき、居住地として本市を選んでいただけるよう取り組んでいく。</p> <p><b>&lt;本個別事業の位置付け&gt;</b>                  引き続き、同コンシェルジュが主体的に取組を進めるとともに、出会いを求める若い世代の男女のニーズに対応した、多様な出会いの場の創出を図るため、恋活イベントの開催を基本とし、また市内で普段交流が少ない異業種で働く人々を対象とした異業種交流会を開催し、新たな交流づくりへつなげるきっかけを創出する。                  本事業は、安芸市まち・ひと・しごと総合戦略の基本目標の一つである、「若い世代が安心して、結婚、出産、子育てができるまちをつくる」に該当し、出会いや結婚を望む男女に対して、多様な出会いの機会を提供することで、その希望が叶えられる社会を実現するための事業である。</p>		

(過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ))

本市独自の調査・分析により、出会いの場創出に向けた取組を推進しているが、イベントへの本市在住の参加者が少なく(参加者全体の3割程度)、地域における出会い・結婚に関する情報周知や機運の醸成が不十分であることから、さらなる市民ニーズの把握に努めるとともに、これに対応するため、より魅力的な出会いの場を創出することが求められている。

また、出会いイベントを計画する際、本市は若い世代の独身男女を狙いとしているが、イベント内容に連動して参加希望者の平均年齢に影響すると判明したことから、若い世代を中心的に募集するためには、これらの傾向を加味したうえで、企画内容を練り上げることが重要である。

これらのことから、より広く参加者を募集するとともに、地域をあげて出会いからを含めた少子化対策を積極的に取り組んでいくため、人々から興味関心を集められるようなイベント企画を提案できるように他市町村の事例やイベント企画力のノウハウを持つ民間活力の活用を積極的に図るとともに、情報発信力の強化として市広報紙やSNS等による周知を強化するほか、子育て応援団登録企業(県登録制度)を通じた市内に居住する従業員への呼び掛けなどにより、市内在住者の参加率向上を目指す。

合わせて、市内在住の参加者に対するインセンティブ(参加費の軽減等)の検討を行う。

番号	項目	内容	ステップアップ	KPI設定
1	安芸市出逢いコンシェルジュ事業	<p>前年度に引き続き、令和6年度においても、企画調整課内に出会い・結婚相談支援員となる「出逢いコンシェルジュ」(会計年度任用職員)を1名配置する。</p> <p><b>【業務内容】</b></p> <p>■ 出会いイベントの企画・開催・支援          出会いや結婚を希望する男女に対し、多様な出会いの場を創出し、より参加しやすい出会いイベントを提供する。また、民間団体等が実施する出会いイベントへの参画及び情報共有を図る。</p> <p>■ 子育て応援団の募集          市内事業所に対し、県登録制度である「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」への登録を促す。</p> <p>■ マッチングサポーター等との連携          マッチングサポーターや婚活サポーターの人材発掘と定期的な情報交換など、より連携を密にした取組を進める。</p> <p>■ マッチングサポーター活動によるお引き合わせ及び本市開催イベント参加者への伴走支援          お引き合わせの日程調整や立ち合い、その後のフォローを行い、独身者の出会いをサポートし、出会いを交際や結婚につなげる支援を行う。          また、本市が開催する恋活イベントへ参加した独身男女で、マッチングした相手とイベント後にやり取りをする際、本市出逢いコンシェルジュの伴走支援を必要とする方への相談支援。</p> <p>■ ニーズ調査の実施          市民や子育て応援団登録企業等を対象に、出会いや結婚に対する男女の意向調査を行い、課題整理と新たな施策の構築に取り組む。</p> <p>令和6年度においては、同コンシェルジュがより主体的に取組を進め、連携自治体との定期的な意見交換や情報共有(対面、オンライン)、イベント時の相互連携を図る。また、本市が実施する出会いイベントにおいては、前年度に引き続き、こうち出会いサポートセンターからのファンリテーター派遣やマッチングシステムを介した募集を行うほか、イベント参加者に対するマッチングシステム登録や連携自治体主催のイベント案内を積極的に実施する。          また、令和5年度に市公式LINEアカウント「縁結びAKI」を開設し、本市主催の恋活イベントに参加した方の中で、市出逢いコンシェルジュの伴走支援を希望する方と一対一でのチャットによる相談支援を実施しているため、これらの取組も合わせて周知していく。          さらに、子育て応援団登録に向けた企業個別訪問や、婚活サポーター等との交流などを通じ、地域における出会いや結婚への機運醸成を図る。</p>	○	○

個別

事業の内容	2	<p>出会いの場創出支援事業</p>	<p>コロナ禍において人との出会いや交流の機会が減少している男女に対し、多様な出会いのきっかけ(イベント)を提供する。</p> <p>■イベント開催委託(イベント開催数を3回に拡充)</p> <p>①市外においてアウトドアという共通する趣味をテーマとした、カップリングを第一目標としない対面イベント(定員男女各25名)*マッチングあり  ※バス車内で参加者同士の交流を図る企画を実施し、会場としての役割も兼ねる予定であるため、バス借り上げ費を計上。</p> <p>②市内において体験・交流が味わえる施設を会場とした恋活イベント(定員男女各25名)*マッチングあり  ※バス車内で参加者同士の交流を図る企画を実施し、会場としての役割も兼ねる予定であるため、バス借り上げ費を計上。</p> <p>③市内において、社会貢献活動と出会いの場を兼ね合わせた恋活イベントを企画し、参加者意識のハードルを下げた形式でのイベントを開催。(定員男女各25名)  *マッチングなし</p> <p>■市直営でのイベント開催</p> <p>①出会い・結婚分野の有識者による講演会やグループ交流などで構成する、市内の子育て応援団(事業所)の独身者を対象とした異業種交流イベント(定員50名)</p> <p>また、イベントと有機的に連携する取組として、以下の二点を実施する。</p> <p>■イベント参加者には、こうち出会いサポートセンターのマッチングシステム体験キャンペーンを案内するほか、マッチングありの出会いイベントの紹介も行うなど、恋活や婚活につながる取組を併せて展開することで、結婚への意識醸成を図る。</p> <p>■LINE等のSNSを活用した出逢いコンシェルジュによるイベント参加者との相談支援体制を構築し、イベント前に参加者からの相談等に対応するなどして、不安の解消に取り組むなど、きめ細かなサポートに努めることでイベント時における参加者同士の交流活性化を図る。また、イベント後においても、LINE等を活用し、必要に応じたフォローアップを行うことで、男女の交際や結婚を後押しする。</p> <p>なお、こうち出会いサポートセンターや子育て応援団登録企業と積極的に連携し、イベント企画から準備、運営補助のほか、参加者の確保などについての協力体制を構築する。</p>	○	○
※(注)3	3	<p>安芸市少子化対策プロジェクトチームによる庁内横断的な検討会</p>	<p>少子化対策の推進においては、多角的に施策を推し進めることが重要であることから、本市では全庁横断的に少子化対策を検討する推進体制として、庁内10課(所)の市職員で構成する「安芸市少子化対策プロジェクトチーム」を設置しており、本市の少子化に歯止めをかけるための、総合的な検討会として取り組んでいる。(当取組は、庁内職員による検討会であるため、実施あたりの予算は発生しない。)</p> <p>チーム会の中では、所管事業の進捗状況を共有し、取組に関する課題点などに対し、協議・検討を行うことで、自分視点からだけでなく、第三者目線での新たな気付きなどもあり、活発な意見交換に取り組んでいる。チーム会で話し合った内容は、各所管課へ持ち帰り、内部で関連する担当職員へ共有を図り、本市の施策へ反映されるような体制づくりに取り組んでいる。</p> <p>また、当チーム会には、本市の出逢いコンシェルジュも参加しており、各担当課での取組状況を把握するとともに、出逢いコンシェルジュの活動実績を共有することで、他課との連携活動に向けた横展開を図る仕組みづくりにも寄与している。</p>		
<p>【次年度以降に向けた事業の方向性】</p> <p>令和6年度以降においても、男女の多様な出会いの場創出に継続して取り組み、出会いや結婚を望む人の希望が叶えられる社会の実現を目指す。</p> <p>【事業内容を検討する上で参考とした既存事業】</p>					

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)4 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値	現状値
	平均初婚年齢(男性)		歳	30.7 (令和6年)	26.4 (令和3年)
	平均初婚年齢(女性)		歳	27.5 (令和6年)	25.7 (令和3年)
	合計特殊出生率		率	1.80 (令和6年)	1.24 (令和3年)
参考指標 ※(注)5 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績	
	合計特殊出生率			1.24 (令和3年)	
	婚姻件数		件	44 (令和3年)	
	婚姻率			2.8 (令和3年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※(注)6	KPI項目		単位	目標値	現状値
	事業内容番号	項目			
		(アウトプット)			
	1	取組1関連			
	2	対面による企業・団体への個別訪問数	社	10	5 (R5)
	3	コンシェルジュの協働により実施したイベント数	回	3	2 (R5)
	4				
	5	取組2関連			
	6	出会いイベントへの参加者	人	226	19 (R5)
	7	イベント参加者のうち安芸市在住者の割合	%	50	47.4 (R5)
	8	異業種交流イベント参加企業数	社	4	—
	9	異業種交流イベント参加者数	人	50	—
		(アウトカム)			
	1	取組1関連			
	2	市民のコンシェルジュ事業に対する満足度	%	70	—
	3	コンシェルジュの働きかけにより取組を始めた企業・団体数	社	10	5 (R5)
	4				
	5	取組2関連			
	6	イベント参加者の満足度	%	90	100 (R5)
	7	連絡先交換マッチング延べ組数	組	20	6 (R5)
8	異業種交流セミナー参加従業員の満足度	%	60	—	
他自治体との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)7	<p>本事業は広域的な取組がより効果を高めるため、県及び近隣市町村と連携して実施する。具体的には、以下の方法とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マッチングシステムの登録や閲覧ができる、広域的な出張登録閲覧会を開催する。</li> <li>・婚活サポーター及びマッチングサポーターが活用できる相談者同士のお引合わせ会場を発掘する。</li> <li>・婚活サポーター及びマッチングサポーターの養成講座について、県の取組を広域的に周知する。</li> <li>・地域の特色を活かしたイベントを開催し、参加者に対し、マッチングシステムの体験登録キャンペーンを案内する。</li> <li>・高知県が開催する市町村勉強会に参加し、県内自治体の取組内容を収集するとともに、各市町村の子育て支援等の取組を参考に、本市の取組を見直す機会とする。</li> </ul> <p>【自治体間連携により実施する事業】 高知県：高知県出会い・結婚支援事業 安芸市：安芸市出会いの場創出支援事業</p> <p>【自治体間連携により効果的・効率的になる内容】 ・マッチングシステムのキャンペーン広報、婚活サポーター及びマッチングサポーター養成講座の開催等、県の取組を市町村と共有し、管内での広報や、人材発掘、市町村独自のサポーター制度との連携を密にすることで県全体と連携した結婚支援体制の強化を図る。 ・連携する他市町村で実施される登録相談会等へ協力のため参加するとともに、情報連携に取り組む。 ・イベント実施の際は、市町村単独での広報のみならず、こうち出会いサポートセンターを通じ全県に広報することで広域的に出会いの機会を周知する。</p>				
民間事業者との連携・役割分担の考え方及び具体的方法 ※(注)8	<p>本事業は、安芸市が主体となり事業を展開するが、民間事業者においては、「高知家の出会い・結婚・子育て応援団」として登録してもらい、本事業の周知及び広報PRに協力していただく。 また、出会いや結婚を希望する地域の独身者に対して、本市の取組についての積極的な情報発信を依頼する。</p>				